

# 「不易流行」

よき伝統を守りながら(不易)

進歩に目を閉ざさないこと(流行)によって

「理想」を創造する

## まちづくりの原動力は人の力

4月は奥大山ひなまつりコレクションで、江尾の街中は多くの人出で連日にぎやかになりました。今年も中学生議会で提案のあった佐川の桜並木のライトアップも行われ、さらに盛り上がりを見せました。文化協会や観光協会を始めとした地元の方々の継続的な取り組みが少しずつ浸透し、さらに新しい企画も加えながら、奥大山・江府町の春は盛り上がりです。日野川にかかる2つの橋を泳ぐこのぼりの掲揚や、毛無山登山開きなども、春の風物詩としてしっかりと定着しています。また、道の駅奥大山も3周年を迎え、お客様に喜んでいただけるイベントを実施しています。江府町になくはない存在になってきたと思えます。

地域の魅力を高め、地元の人を誇りに思い、町外の人にその良さを伝えていく。そこに、食事や宿泊の提供、農産物、土産物の販売等、地域での経済活動が結



▲笑顔あふれる道の駅奥大山生誕祭のもちまきの様子

びつくことで、さらに活気が生まれてくる。それがこれからのまちづくりには欠かせないものだと思っています。そして、それを現するための原動力となるのが人の力です。住民の皆さんが頑張られることを、役場が支えることはもちろんですが、住民の皆さん同士の助け合い、そして、新しく設立されたNPO法人「こうふのたより」も、移住促進のための事業や、ふるさと納税事業、住民活動に関する支援等の事業を行われます。今後新たに、毎月1回、日曜日の午後1時から防災情報センターで「町民と町長のまちづくり意見交換会」も実施することになりました。互いに情報を共有しながら、よりよいまちづくりに取り組んでいきましょう。

# 「3000人の楽しい町」プロジェクトチーム活動報告

春らしくない暑さと、少し肌寒い気候を繰り返す今日このごろ。体調を崩しがちな季節ですが、みなさまいかがお過ごしでしょうか。さて、プロジェクトチームは新しいメンバーとなり、今年度の活動に向けてテーマを話し合っているところですよ。

新しい庁舎は旧江府中学校跡地に建設されることが決まっています。一方、現在の庁舎は、建物や土地の今後についてはまだ白紙の状態です。庁舎を保存して何かに生かす、もしくは取り壊して町営住宅を建てる、分譲地にする、駐車場にする、等々……利活用については様々なアイデアが出てくるでしょう。それらを検討するのもひとつの面白いテーマです。

また、庁舎の移転という大きな事業は、町全体のあり方について見直すよい機会にもなります。町内を巡回しているバス、商業施設、福祉施設などは現在、どのような状況にあるのか。庁舎を移転することで、そうした状況はどのように変わるのか。もし課題が

あるのだとしたら、どのような方法で解決することが出来るのか。

江府町全体を見つめることで、そうした町の「構造」を明らかにして、作り直してみる。いわば、新しい江府町を「デザイン」すること。これは、新庁舎建設という事業があつてこそ生まれるチャンスです。とても大きな目標ですが、これからの江府町に必要な、やりがいのあるテーマでもあります。

まだ結論は出ていませんが、新庁舎の建設にともなう江府町の変化を捉えて、次の一歩を踏み出すための取り組みを今年度の活動としたいと考えています。



役場本庁舎、山村開発センター、防災・情報センター、総合健康福祉センター、子供の国保育園には「未来のまちをつくるあなたの声」ポストを設置しています。みなさまの考えるまちづくりへの提案や日々の困りごとなど、ご意見がありましたら備え付けの用紙にご記入いただき、ぜひご投函ください。ご利用をお待ちしています。

動画で町報こうふ!



以前の報告会の様子は動画サイトyoutubeでご覧いただけます。